

中之島の景観をまもる 市民運動の軌跡

①日本銀行大阪支店ファサード保存はなぜ実現できた

2026年

11/14(土) 受付 13:30
開演 14:00

講演会

場 所：大阪市中央公会堂
地階大会議室

大阪市北区中之島 1-1-27

参加費：¥1,000（当日支払い）

定 員：80 名（当日参加可）

申込み： 申し込みはこちらから ▶



講 師

すねや こうへい
強谷幸平氏

東京大学総括プロジェクト機構特任助教。
東京大学大学院人文社会系研究科文化
資源学研究専攻課程中退。専門は文化
資源学、文化遺産研究。近代建築や歴
史的環境の「遺産化」をめぐる社会課程
について研究を行う。主な論考に「近代
建築の遺産化における台帳主義の可能
性：1970 年代の全国リスト作成と保存運
動を通して」、講演「二食と二つの未完」
など。



見学会

11/18(水) 午前の部 10:00
午後の部 13:30

日本銀行大阪支店見学会

場所：日本銀行大阪支店 大阪市北区中之島 2-1-45

申込：事前申し込みが必要 10/30〆切 申し込みはこちらから ▶

定員：先着各 15 名

参加費：無料 ※見学会参加者にはメールにて詳細をお知らせ致します。



今後の講演会の予定 ②回 大阪市役所建替えと大阪府立中之島図書館の重文指定
③回 大阪市中央公会堂永久保存までの道のり

中之島に現存する大阪市中央公会堂や府立中之島図書館、日本銀行大阪支店が織りなす歴史的な景観はどのようにして保存されたのでしょうか？近代建築や景観の保存における市民運動の役割などを研究している強谷幸平氏をお招きし、第1回目の講演会は日本銀行大阪支店にスポットを当て、中之島の将来や保存運動の現代的意義について考えます。1971年に始まった中之島をまもる会・中之島まつりなどの市民の保存運動を振り返り、日銀内での対応の内幕、市の公文書、文化庁主催の懇談会等の歴史資料をベースに、日銀大阪支店のファサード保存決定に至る舞台裏を辿ります。後日には見学会も企画していますので、別途、お申し込みください。